

北又谷紅葉、きのこ狩りハイキング

絶好の秋日和の下

朝日町観光協会主催による恒例の北又紅葉狩りハイキングは、10月25日の日曜日、絶好の天候に恵まれ実施されたが、例年しばしば天候不良のため中止のうき目をみ、町民一般の観光熱をそそるには至らなかったが、

本年は、発表と同時に申込者が殺到し、早々に定員を突破し、係員は断わるのに困惑の態であった。

当日、小川元湯に集合した参加者の大半は中年アベックで占め、特に家庭の主婦の参加が目立って多く、輸送車に身をゆだねた一行の悲鳴とも騒声ともつかぬカン声は全山にこだまして、さすがの熊も猿もソソレをなして奥山に身をひそめた、と係員の陰の声もあったとか。

満山紅葉

すばらしい越道峠の眺望

一行は越道峠で下車、思い思いに付近の雑木林の中に散っていったが、越道峠の眺望は正に絶佳、「すばらしい」、「まあ、きれい」、とため息と感嘆の声の連発、満山紅葉とゆかぬまでも、正に錦しゅうの秋という表現がピッタリである。

ダイゴ味満喫の北又川原ナメコパーベキュー

ひるともなると、てんでにナメコやくりのもたせのえものにリュックをふくらませ、北又の清流に集結、協会係員の世話で川原にしつらえられたナメコパーベキューに持参のべんとうを開いた。

清れつな流れを横に、澄んだ青空を仰いでバクつくおにぎり

の味はまた格別、健康づくり運動といった副産物も考えられようが、そんな俗っぽいものでなく、そのダイゴ味たるや参加者ならでは味わい得ないものであった。

付近一帯はナメコ、くりのもたせの全盛期

昼食後、午後は再びきのこ狩りが行なわれたが、付近一帯は、ちょうど今がナメコとくりのもたせの全盛期で、一同大量の収穫を得、文字どおり一石二鳥の栄を上げ、越道峠において再び車上の人となり掃途についた。

一行は、終始行き届いた協会係員の汗だくの奉仕に心から感謝し、元湯において散会した。

新しい団体コースの開拓

今回の催しの好評と共に、参加者の一部の声では、北又は本町随一の観光コースではあるが、将来、城山、棚山等の近距離ハイキングコースの改良とPRの必要や、春の山菜採りや秋のきのこ狩り等、季節に応じた新しい団体観光コースの開拓、たとえば、境川上流大平奥から蛭谷方面へ抜けるコースや笹川上流探勝地の開拓等、新観光資源開拓地の候補地が話題にのぼっていたようである。

<標題写真>

北又川原でナメコパーベキューを楽しむ
紅葉狩りハイキングの参加者達

12月13日に町長選挙

告示は12月3日

この選挙の投票資格

昭和四十五年十一月二日(選挙人名簿登録基準日)現在で、朝日町に引き続き三カ月上(昭和四十五年九月一日以前から住民登録がなされている者)居住している者、および昭和四十五年十二月十三日現在で、満二十才(昭和四十五年十二月十四日以前に生まれた者)に達している者で、公民権停止などの欠格事由のないもの。

不在者投票について
昭和四十五年十二月三日(告示日)から十二月十二日(投票日の前日)まで毎日午前八時三十分から午後五時までです。

不在者投票をされる方は、不在事由証明書が必要です。用紙は選挙管理委員会に用意してあります。

立候補予定者打合せ

日時 十一月二十五日(水)
午後一時三十分
場所 朝日町役場

立候補届出書類関係書類を配布いたしますので、予定者は必ず出席してください。
(朝日町選挙管理委員会)

議会だより

第五回定例会開く

四十四年度決算など認定

第五回朝日町議会定例会は、九月二十四日招集され、三十日までの会期七日間をもって、上程二十三議案全部が原案どおり可決または認定、同意された。

本定例会には、昭和四十四年度一般会計はじめ、泊病院事業会計及び各特別会計、計十九件の決算が審議され原案どおり認定された。
次に、昭和四十五年度の補正予算では、河川災害関連事業費約一千二百万円などを含む一般会計と、五つの特別会計を合わせ総額三千三百万

円余の補正を可決した。

また、国民健康保険の助産費支給額を、二千円から一万円に引き上げる条例改正を認め、町道谷一岩崎線の、上朝日橋架橋下部工事の請負契約に同意した。

今後注目される、新川地区広域市町村圏(魚津、黒部、入善、宇奈月、朝日の二市三町で構成)発足の準備機関である協議会の設置が認められ、直ちに計画策定に入ることになった。

この外、議員提案による、議会特別委員会(総合開発、行政区画、開発公社)設置の件などを議決して閉会した。

本定例会に付議された議案の件名

- 議案第一号 昭和四十四年度朝日町一般会計歳入歳出決算(認定)
 - 議案第二号 昭和四十四年度朝日町国民健康保険特別会計歳入歳出決算(認定)
 - 議案第三号(第七号) 昭和四十四年度朝日町国民健康保険診療施設(大谷庄、笹川、宮崎、境、山崎)診療所特別会計歳入歳出決算(認定)
 - 議案第八号 昭和四十四年度朝日町簡易水道特別会計歳入歳出決算(認定)
 - 議案第九号 昭和四十四年度朝日町南保外二地区用水特別会計歳入歳出決算(認定)
 - 議案第十号 昭和四十四年度朝日町泊外一地区用水特別会計歳入歳出決算(認定)
 - 議案第十一号 昭和四十四年度朝日町家畜診療所特別会計歳入歳出決算(認定)
 - 議案第十二号 昭和四十四年度朝日町工場誘致特別会計歳入歳出決算(認定)
 - 議案第十三号 昭和四十四年度朝日町立泊病院事業決算(認定)
 - 議案第十四号 昭和四十五年朝日町一般会計補正予算(第三号)(可決)
 - 議案第十五号 昭和四十五年朝日町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)(可決)
 - 議案第十六号(十九号) 昭和四十五年朝日町国民健康保険診療施設(大谷庄、笹川、宮崎、境)診療所特別会計補正予算(第一号)(可決)
 - 議案第二十号 朝日町国民健康保険条例一部改正の件(可決)
 - 議案第二十一号 工事請負契約の件(同意)
 - 議案第二十二号 新川地区広域市町村圏協議会設置について(可決)
 - 議員提出議案第一号 朝日町議会特別委員会設置の件(可決)
- 特別委員会の構成(◎委員長、○副委員長)
- 総合開発特別委員会(七人)
◎七沢収作、○深松実、上島栄作、扇谷隆二、大沢龍松、坂口良造、長崎仙松
- 行政区画特別委員会(五人)
◎狩谷常作、○米田吉二、酒井栄、松倉健三、南茂源治
- 開発公社特別委員会(五人)
◎山岡政次、○安達義雄、清水賢二、大橋米太郎、水島繁松

北日本文化賞受賞の栄誉

宮崎小学校教諭 竹内俊一氏



竹内俊一氏

一人として表彰されることに決定された。

氏は、昨年、宮崎浜山玉造り遺跡の発掘調査、その他の研究により、県の優良教員として表彰を受けられたが、今回は、氏の従来からの研究になる、山村社会の出かせぎ、林産収益と農家経済、農民離村の心理や実態、あるいは沿岸漁業の収入等、その他多くの貴重な研究発表と、特に郷土史や考古学分野での広い研究実績が高く評価され、授賞者として決定されたものである。

また、氏は現在、県考古学会理事として、更に、町文化財調査委員と

今月の税金は

固定資産税

国民健康保険税

三期分

水利地益税

全期です

新川地区広域市町村圏協議会発足

近代的な地域社会の建設をめざす

新川地区広域市町村圏協議会も、関係各市町の九月定例議会において規約が議決され、十月三日から本格的に活動することになりました。そこで、広域市町村圏とはどんなものか、目的は何か、事業の進め方、指定になるとどんな特典があるのか等をお知らせします。

広域市町村圏の趣旨

近年の経済の発展は目ざましいものがあり、生活水準は急速に上昇し、生活態様も都市化しつつあります。

しかし、これらに比して、市町の道路とか、上、下水道など、公共の施設整備が非常に立ち遅れている現状であり、これらの施設を早急に整備する必要にせまられています。また、人口の都市集中化、農山漁村地域からの人口の流出による、いわゆる過疎過密の問題が発生しており、その解決のため、それぞれの地域の特性に応じた産業の振興と、地域住民の生活環境の近代化が望まれています。さらに、このような時代の進展とともに、県ならびに市町の行政は、全般的に多様化し、高度化しており、これらに応ずる市町の行政の効率的運営が強く要請されています。

このほか、交通、通信手段の発達に、特に急速な自動車の普及によって、住民の日常生活の行動範囲が次第に拡大されて、市町の区域をこえた生活圏が形成されつつあります。このような地域社会の変動に対処し、住民の要請に応ずる行政サービス

スを行なうため、関係市町が共同して対策を講ずる体制が必要となつてくる現状です。

以上のような要請と課題にこたえるため、広域的なネットワークを通して公共施設を広域的に整備して、地域全体を都市と同じような水準まで引き上げ、住民へのサービスを向上して「豊かな魅力ある地域社会」を建設しようという趣旨から生まれたのが、広域市町村圏の構想です。

新川地区広域市町村圏の概要

新川地区広域市町村圏の区域は、旧下新川郡の全域である魚津、黒部、入善、宇奈月、朝日の二市三町で構成されており、これらの市町では、既に、し尿処理の東部衛生処理組合をはじめ、一部による伝染病隔離病舎等の事務の共同処理等を行なっています。

当地域の問題点としては、まず、共通的に若年層の人口流出が激しく一部には深刻な過疎化現象も見られていること、時に人口の減少は消費面にも影響を及ぼし、また産業人口の確保にも困難をきたしています。

また冬期間における雪の障害によって産業活動が阻害され、停滞的であること、さらに当地域の主要産業である農業については、その生産性を向上させ、全体の所得水準を高めさせなければなりません。農業をとりまく情勢は極めてきびしい環境下にあります。

このほか、産業等の基盤となる道路交通網の整備をはじめ、ごみ処理施設、福祉施設の充実など数多くの問題が提起されています。

以上のような問題点の解決方法として、広域市町村圏の構想に着目して、関係市町ともども、今年度指定の獲得に努力し、関係機関のご助力により、七月二十一日付県告示によって、新川地区広域市町村圏が実現されたものである。

広域市町村圏の将来のビジョン

広域市町村圏に指定されると、まず関係市町が、当地域を将来どのようにするかというビジョンをつくることとなります。

これを広域市町村圏基本構想(昭和六十年を目標)といえます。この基本構想に基づいて、基本計画(五カ年)、実施計画(三カ年)が策定されますが、その中心となるのは、○広域ネットワーク計画

○広域事務処理システム
○根幹事業の計画

広域ネットワークとは、圏域内の市街地集落をどのように配置し、そしてこれらを相互に結ぶための道路をどのように整備して生活環境の近代化をはかるかということです。

広域事務処理システムとは、清掃、医療などのように、圏内で広域的に処理したい事務を、どのような仕組みで、いかにして効率的に運営していくかということです。このような計画とあわせて、圏域の中心市街地

や基幹集落には、地域の特性等にあった公共施設等が整備されます。これらの事業の実施主体は、道路整備のように、個々の市町において行なうものと、広域事務処理システムのように、一部事務組合をつくって共同で実施するものがあります。

以上のように、今後、広域市町村計画によって、住民生活をより快適にするための事業を、関係市町が一体となって、集中的に実施していくこととなりますので、大きな成果が期待されます。

森木さん

銀メダル獲得

全国身障者スポーツ大会



森木庄一さん

第十六回全国身体障害者スポーツ大会が、十月二十四、二十五の両日にわたり、岩手県盛岡市で行われ、富山県代表として出場された森木庄一さん(朝日町西町)は、片大腿切断、砲丸投の部で見事二位になり銀メダルを獲得された。(民生課)

を記念して、永年連盟役員として、全日本連盟会長表彰を受けられた。



上沢源次氏

上沢源次氏に

全野球連盟会長賞

前下新川郡野球連盟会長、上沢源次氏(朝日町栄町)は、このほど、全日本軟式野球連盟創立二十五周年

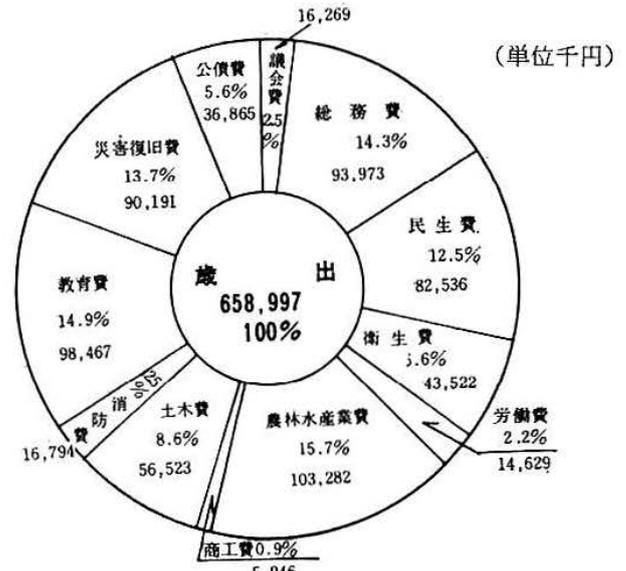
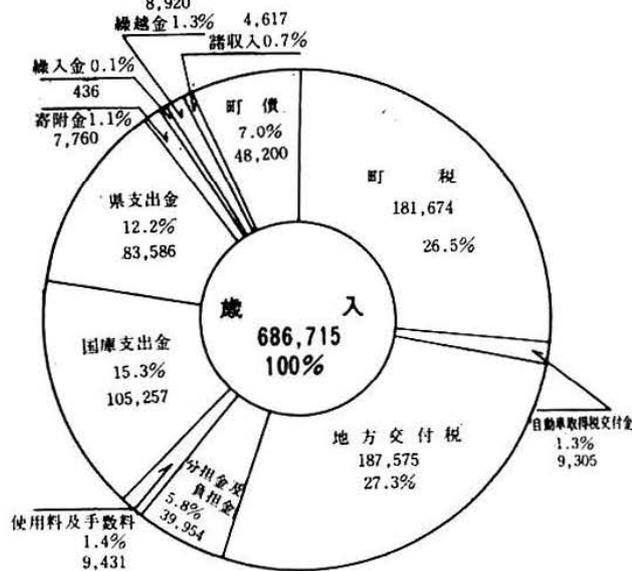
氏は、昭和十年頃に、三太倶楽部(現在も活躍している野球チーム)の一員として野球を始められたのを皮切りに、以来野球の発展に尽くされ、特に全日本軟式野球連盟が結成されてからは、旧下新川郡連盟役員として活躍、更に昭和二十九年に新下新川郡となり、昭和四十四年三月まで郡野球連盟会長を務められ、その間各種の大きな大会を催されるなど、野球の振興に鋭意努力され、下新川郡連盟を富山、高岡に次いで、十九チームを擁する連盟にまで育てあげられた。

今回の表彰は、その長年の努力と功績が認められたものである。

昭和44年度朝日町決算状況報告

9月定例議会に提出 慎重な審議により認定

一般会計	歳入総額 6億8,671万円 歳出総額 6億5,900万円 差引額 2,771万円	特別会計	歳入総額 1億7,121万円 歳出総額 1億6,195万円 差引額 926万円	公営企業会計	総収入 2億1,781万円 総支出 2億4,853万円 収支差引 △ 3,072万円
-------------	-------------------------------------------------	-------------	-----------------------------------------------	---------------	--------------------------------------------------



一般会計

決算総額は歳入六億八千六百七十一万円、歳出六億五千九百九十九万円となり、実質収支二千七百七十一万円(内事故繰越六十六万円)を翌年度へ繰越しとなりました。

▽地方交付税は全体の二七・三%

歳入面では町民のみならずから納めていただいた町民税、固定資産税、軽自動車税のほか、たばこ消費税、電気ガス税などの町税は、一億八千六百六十六万円で、前年度よりも一・四%伸びました。

また道路に関する費用にあてる自動車取得税交付金六百六十万円、道路交通安全施設の設置に要する経費の財源にあてるための、交通安全対策特別交付金二十九万円がそれぞれ交付されました。

地方交付税については、普通交付税二千五百四十四万円、そのほか減税一億六千二百四十四万円、特別交付税政策の一環として取り上げられる臨時減税補てん資金三百二十万円、これら一般財源総額三億九千四百八十六万円となり、歳入全体の五七・五%であります。

なお、一般財源の中しめる地方交付税が四七・五%と、依然大きな比重とされています。

▽国庫支出金は、一億八千八百八十四万円

つきに、特定財源である分担金負担金は、造林事業及び林業構造改善事業分担金など千五百六十万円、常設保育所措置費負担金など二千三百五十七万円、使用料手数料は、公営住宅使用料、し尿汲取手数料などは九百四十三万円あります。

は、常設保育所措置費の国庫負担金二千二百六十九万円、災害復旧事業負担金四千四百二十八万円、農業振興費に二千三十四万円、林業構造改善事業費に千八百四十七万円、道路橋梁事業及び都市計画事業費に一千二百万円などあります。

さらに桜町保育所新築、ごみ収集車購入、都市計画事業、山村振興道路整備事業及び災害復旧事業の投資的経費にあてた起債四千五百万円など、総額二億八千五百五十五万円となりました。

▽歳入総額で四三・六%の増

歳入全体的には、前年度よりも四三・六%の伸びで、二億八千六百四十四万円の増であります。

とくに町税については、課税客体を把握し、使用料手数料についても、適確な年間収入を見込み、さらに、国庫支出金については、事業内容及び事業効果等よく検討することなど、今後さらに一般の努力を要するものと考えられます。

▽泊病院会計補助金一千八百七十七万円

一方、歳出面では、人件費については、職員給与費、議員、委員等の報酬などで全体の二八・〇%をしめし、一億八千四百五十一万円となっております。

物件費、維持修繕費等の経常的経費については、極力経費の節減につとめた結果、前年度よりも若干の増加にとどまりました。

また、扶助費補助金については、泊病院事業会計への負担金一千八百七十万円、東部衛生処理組合負担金二百六十三万円など、各種の補助負担金あわせて、七千九百二十八万円となり、歳出全体の二二・〇%となっております。

投資的経費に二億五千九十九万円

投資的経費では、補助事業に八千二百四十四万のほか、単独事業に六千二百九十八万円、さらに、災害復旧事業に九千八百八十九万円、失業対策事業に千三百五十一万円、県営事業負担金に二百五十六万円、総額二億五千九百九十九万円となっております。

つきに、町がいろいろな事業を行なうため、国や県などから借り入れた起債で、その返済に要する元利償還金が三千六百三十八万円、一時借入金利子に四十七万円、これは資金収支の計画的な運営を計るため、予算では百三十八万円計上いたしましたが、最少限度にとどめた結果が四十七万円となりました。

▽国保会計へ六百万円繰出し

繰出金については、国民健康保険特別会計に赤字握てん資金として六百万円、簡易水道特別会計に起債の一部元利補給金として二百四十万円などがあります。

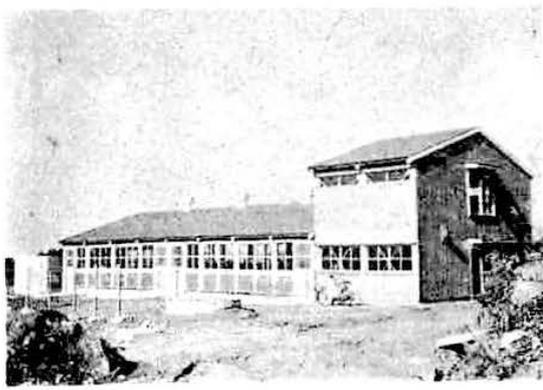
泊病院特別会計

地方公営企業法の財務規定等の適用第二年度は、基本計画に沿った運営に努めてまいりましたが、期待された健康保険法による点数改正の実施が遅れたためなどの主な原因で、収益的収入支出において収支差三千七十二万円の欠損金を生じたのであります。

泊病院経営上の営利性は、自治体病院の共通の課題であり、現医療制度にも問題があるところですが、能率的経営について鋭意努力する必要があります。

その他の特別会計については、全般的に前年度と比較いたしまして、省略いたします。

畜産経営の振興をはかる 南保に和牛肥育センター



畜産の振興をはかるうと、肉牛飼育の盛んな南保地区に和牛肥育センターが完成した。(写真上)

このセンターは、南保和牛生産組合と朝日町中央農協が事業主体となり、山村振興事業の一環として建設が進められていたもので、肉牛の若令肥育を目的とし、子牛を導入して一定期間哺育育成し、また、組合員による委託肥育も行ない、肉牛肥育の回転率を早めるとともに、農家経済の安定と肥育技術の改善をはかるうというもの。

このセンターの完成により、和牛の一大生産地樹立をめざすとともに、新しい管理技術の導入を行ない、畜産経営の安定化がすすむものと期待されている。(産業課)

朝日町中央農協 総合センター完成

朝日町中央農協では、農業情勢の変化と経済の進展に伴う消費の動向に対応するため、朝日町道下地区の国道沿いに総合センターを建設中のところ、このほど完成した。(写真下)

このセンターでは、農機具サービスセンターを統合するとともに、自動車整備工場を併設して、サービスの向上と利用者の便宜をはかり、また配送施設を充実して、一括仕入れによるコストの引下げをはかり、安くて良い農業用資材などを供給することをねらいとしたもの。三、二六九平方メートルの敷地内には、事務室を含む自動車整備工場、配送センター、LPガス基幹貯蔵庫、車庫が完備されている。

また、今年度は、朝日町が食生活改善モデル地区の指定により、農村食生活改善推進事業として、食品保蔵施設(大型冷凍庫及びショーケース)を設置し、組合員の食生活改善に役立てることにしている。(産業課)

電話局だより

十一月二十日午後三時から、当区内の公衆電話も市内通話三分打切りが実施されます。

- 三分打切りになる公衆電話
- 一般の赤でんわ、青でんわ(ボックス)
- 三分打切りにならない公衆電話
- 電話局内の赤でんわ、郵便局内の赤でんわ、大家庄、蛭谷郵便局前の夜間用青でんわ(ボックス)

優良納税協力会を表彰

朝日町では、十一月三日の文化の日を記念して、納税成績が向上し、他の模範となり、町行政の発展に寄与する所大と認められる次の納税協力会を表彰しました。

- 沼保納税協力会
- 小更納税協力会

晴生夜

よるこびの人

- 沼川上 茂、三枚橋 広田吉子
- 境 水島英樹、吉黒部 広川富美子
- 平柳 野沢征人、富山市 前田好美
- 平柳 島輝広、富山市 前田節子
- 境 広川忠男、月山 沢田英美子

赤ちゃん誕生

- 平柳 入江 久 長女 真実
- 道下 東 英二 長女 琴美
- 境 川口忠一 長男 俊也
- 沼保 高島 勉 長女 直子
- 沼保 土師 清 二女 文代
- 道下 大倉喜一 二女 志保子
- 東草野 寺崎文朗 長女 真弓
- 下山新 野村久雄 長男 康弘
- 笹川 小林祥三 二女 仁美
- 平柳 魚津 寛 二男 史郎
- 山崎 水野敏男 長男 厚志
- 山崎 鈴見正文 長女 順子
- 平柳 広川 弦 二女 景子
- 笹川 小林武三 二女 香代子
- 藤塚 沢岡金松 長男 謙二
- 山崎 七沢 晃 二女 聡恵
- 沼保 飛田寛治 二男 晶夫
- 殿町 初田 隆 二女 久子
- 藤塚 長原征男 二女 こずえ
- 泊川 草野誠治 長男 真一
- 荒川 根建末松 長男 伸一
- 桜町 森木久義 長女 恵美

なくなった人

- 草野 追分悠紀夫 長女 亜紀子
- 沼 荒川 功 長女 和美
- 山崎 名越 稔 長男 正生

朝日町の人口

(九月三十日現在)

男 九、二三六八
女 一〇、六七〇八
計 一九、九〇八六
世帯数 五、〇四一世帯

先月の交通事故

(朝日町管内)

件数 一一件
死亡者 二人
負傷者 一四人

編集兼発行 朝日町役場
印刷所 高田印刷
送料 六円
定価 六円
郵便番号 九三九一〇七